

1 子ども事業

R6. 11. 30現在

No.	実施事業名	方法	事業の概要	講師	開催日	対象	定員	参加実績	成果・課題
1	夏のおはなし会	対面	幼児、小学生向けのおはなし会。子どもが集中できるプログラムを考慮してく体を動かす><じっと静かに聞く><声を出す><メロディーを聴く>を構成し、子どもの想像力や情緒を豊かに育てる。	ストーリーテリングサークル「おはなしのたまご」	①R6/7/25(木) ②R6/8/1(木)	①概ね2歳～3歳の親子 ②概ね4歳～小学生	①親子10組 ②子ども15人	①親子7組 (18人) ②子ども8人	手遊びやわらべうたを紹介し、日常において親子で行うことで、それらは安心感や幸福感につながる。大きい子の回では、集中力に欠ける子どもがいたため、講座全体の満足度がやや低下した。そのような子への対応を考える必要がある。
2	親子でおもしろ理科実験 水面をスイスイ進むふしぎなボート	対面	学校では習わない理科の実験教室。実験前にみんなが結果の仮説を立てて、なぜそう思うのか、議論し合う仮説実験事業。	入澤真由美氏	R6/8/3(土)	小学1年生～3年生の親子	10組	9組19人（親9人、子10人）	オリジナルのボート工作と実験に真剣に取り組む様子が見られた。身近な水をテーマとしたことで、日常の中で親子で実験を楽しむきっかけを提供した。90%が楽しかったと回答する中で集中力に欠ける場面もあったため、進行に工夫が必要である。
3	親子でプログラミング教室 Scratch（スクラッチ）でダンジョンゲームを作ろう	対面	小学校で必修学科となったプログラミング。毎回人気の講座。小学校低学年でもできるプログラミングの講座を開催する。	大木伊都子氏（NPO法人パソコンボランティア湘南）	R6/8/31(土)	小学3年生～6年生の親子	10組	6組12人	講師と2人のスタッフによるサポートがあり、親子でスムーズにプログラミングに取り組むことができた。全員がまたプログラミングをしたいと回答した。予定プログラムを時間内に終わることができなかったため、講座時間をより長く設定する必要がある。
4	海岸生物観察会	対面	小学生対象に海岸で生き物観察をしてもらい、心身発達の一助とする。						※中止
5	ウニらんとんを作ろう！	対面	ウニから環境問題を学ぶ。ウニの殻等を利用して作品を完成させる達成感を味わってもらい、自分で考えて作ることで創造力を育てる。	亀山祐孝氏（NPO法人「パラギ”海と自然の教室”）	R6/11/2(土)	小学生とその保護者	10組	9組（小学生10人、保護者8人）	参加者全員ウニによる海藻の食害が海の環境に影響を与えていることがわかったと回答があった。自分の思い描いたウニらんとんを楽しそうに作成していた。海の環境問題にもう少し興味を持ってもらえる様に検討が必要である。
6	レッツ！トライ！ボランティア!!2024（連続講座）	対面	小学校3年生から中学生を対象に福祉、平和、防災等幅広い分野について学習する。その成果を福祉施設や公民館まつり等で発表し、地域社会に還元する社会体験事業。	湘北地区の青少年を育てる会	①R6/5/19(日) ②R6/6/16(日) ③R6/7/21(日) ④R6/8/25(日)、26(月) ⑤R6/9/15(日) ⑥R6/10/20(日) ⑦R6/11/17(日) ⑧R6/12/15(日) ⑨R7/1/19(日) ⑩R7/2/16(日) ⑪R7/3/16(日)	小学3年生～中学3年生	10人	①6人 ②6人 ③7人 ④5人 ⑤7人 ⑥7人 ⑦7人 ⑧6人 ⑨ ⑩ ⑪	
7	ペットボトルでソーラーランタンを作ろう	対面	環境のことを学びながら、楽しい工作教室を開催する「子ども環境教室」。						※中止
8	やぎさんふれあい広場	対面	やぎとのふれあい、餌やりを中心とするふれあい学習。身近な動植物に親しみをもって接し、生命の尊さに気づき、いたわったり、大切にしたりしようとする気持ちを育てる。	一般社団法人やぎの里	R6/10/20(日)	3歳～12歳		22人	目標参加者数は3～12歳（幼児～小学生）10名の予定であったが、当日の参加者数が22人と目標を大きく上回ることでできたため、多くの方が動物と触れ合う良い機会になった。開催直前に、ボランティアの方々に草むしりをしてもらったため、当日餌となる草がなくなった。次回以降、日程の調整を工夫する必要がある。
9	(5館・青少年会館連携) 小学生のうちに身につけておきたい ネットリテラシー	対面・Zoom	令和5年度に引き続きKENTEM（株式会社建設システム）と連携して実施。インターネットの情報を正しく理解し、それを適切に判断、運用できる能力を身に付ける講座。						※2. 家庭教育支援関連事業No.12で実施
10	(5館連携) ドローン活用事業	対面・Zoom	令和4年度に寄附されたトイドローンの活用事業。						

11	ペープサートを作ろう	対面	講師による紙芝居の実演及び紙人形を作成し、人形劇を行う。	和田光一氏、和田倭文子氏（こっこ和田屋）	R6/12/14(土)	小学生	10人		
----	------------	----	------------------------------	----------------------	-------------	-----	-----	--	--

2 家庭教育支援関連事業

No.	実施事業名	方法	事業の概要	講師	開催日	対象	定員	参加実績	成果・課題
1	(共催) 乳幼児健康相談	対面	こども育成相談課と共催。 乳幼児の心身の健康と発達を支援し、母親の育児サポートを行う。	こども育成相談課	①R6/4/18(木) ②R6/7/11(木) ③R6/10/17(木) ④R7/1/23(木)	乳幼児(0歳～未就学児)	概ね10組程度	①4組 ②5組 ③6組 ④	
2	姉妹都市友好協定締結10周年事業おちゃっぴ粘土教室ハワイのホヌ(ウミガメ)を作っちゃおう～!	対面	カラフルで手にくっつきにくく、小さな子どもにも扱いやすい粘土を使って、オリジナル粘土キャラクターを作る。	相川信也氏(粘土クリエイターおちゃっぴ)	R6/10/6(日)	3歳～小学生	20人	18人	姉妹都市友好協定締結10周年事業の一環として行った。ハワイのホヌ(ウミガメ)を粘土で作ったが、カラフルで扱いやすいオリジナル粘土は、小さい子どもも取り組みやすかった。引率してきた保護者も夢中になっていた。
3	親子贅沢味噌作り教室	対面	通常の味噌作りより2倍量の糀を使って作る<贅沢味噌>は甘く子どもも食べやすい。味噌作り初心者にはわからない保存の仕方や、保存中起こりうるカビがどうして発生するのか、その対処の仕方についても親子で楽しく学ぶ。	熊澤弘之氏(米の花店主)	R6/11/10(日)	小学生までの親子	8組	8組	味噌作り講座はほかでもよく見かけるが、味噌にとって大切な糀を作っている職人が講師となっているので、なぜ味噌が体に良いのかを発酵の面から専門的に学べるところが他の味噌作り講座とは違う点になっている。
4	本格キムチを漬けよう!	対面	生活習慣を見直し、腸内環境のバランスを整えたいという人が増えている。発酵の力によって腸内環境を整える効果が期待できるキムチを手作りし、健康増進を図る。	李順蘭氏(韓国語教師)	R7/2/5(水)	18歳以上	12人		
5	大人のピラティスレッスン(託児付き)(連続講座)	対面	体のバランスを整えるピラティスを学び習得することで、子育て中で自分のために時間を作ることが難しい母親でも、自宅で容易に健康増進を実践できる。	竹内サチ子氏(マットピラティスインストラクター)	①R6/7/3(水) ②R6/7/10(水)	18歳～45歳	10人	①10人 ②7人	子育て世代に健康づくりの機会を提供するとともに参加者同士の交流の機会を提供できた。約9割が体のバランスを意識できた、ピラティスを続けたいと回答した。平日午後実施したため、通園する子をもつ親には参加が難しかった。参加対象に合った曜日・時間の設定が必要である。
6	ミニクリスマスツリー・レッスン(託児付き)	対面	子育て中の母親が公民館に集まる機会をつくることにより、孤独にならず、母親同士で交流できるようにする。また、リースの自然素材を扱うことで気持ちのリフレッシュ効果も見込める。	岩田朱理氏(花と庭のお店「mukuri」オーナー)	R6/11/27(水)	18歳以上	12人		フレッシュなヒバ、ヒムロスギなど癒し効果も高い花材を使うこともあって、ストレスの発散につながったという声も多かった。ツリーのデザインについても評価が高かった。託児の申し込みがなかったのは残念だった。
7	～糀職人に学ぶ「発酵の世界」～醤油糀・塩糀・玉ねぎ糀を作ろう	対面	無理なく糀を生活に取り入れて、食を通じた体づくりを促す。簡単にできる発酵調味料の作り方を学び、毎食事に取り入れることで腸内の環境を整える。	熊澤弘之氏(米の花店主)	R6/7/7(日)	18歳以上	16人	15人	糀職人の講師から発酵について専門的な知識を得ることができ、それを活かす調理法を学べるのがこの講座の最大の利点であった。来年は豆板醤を手作りしようという講師からの提案もあり、材料が揃う6月に開催が決まった。
8	親子可愛い工作教室	対面	デザインの発想力や想像力を養い、脳を活性化しオリジナリティーをはぐくむ。もの作りの楽しさを体験する。						※中止
9	かめさんのおうち	対面	地域のつながりの希薄化や核家族化などの社会の生活変化が著しい。子育て仲間とお互いの子育ての不安や共感を得る機会も少ない中、年齢の近い子どもを持つ保護者同士の交流の機会を作る。	保育ボランティア	①R6/4/17(水) ②R6/5/15(水) ③R6/6/19(水) ④R6/7/17(水) ⑤R6/8/21(水) ⑥R6/9/18(水) ⑦R6/10/16(水) ⑧R6/11/20(水) ⑨R6/12/18(水) ⑩R7/1/15(水) ⑪R7/2/19(水) ⑫R7/3/19(水)	0歳～就学前までの子どもと保護者	40人	①15人(大人7人、子ども8人) ②8人(大人3人、子ども5人) ③13人(大人6人、子ども7人) ④13人(大人6人、子ども7人) ⑤12人(大人5人、子ども7人) ⑥21人(大人9人、子ども12人) ⑦17人(大人7人、子ども10人) ⑧2人(大人1人、子ども1人) ⑨ ⑩ ⑪ ⑫	

10	保育園のびのび広場	対面	保育園や幼稚園にまだ通っていない子どもを対象に、集団生活へのきっかけになる場を提供。保育士が年齢の近い子どもを持つ保護者同士の交流の機会を作る。	香川保育園、鶴が台保育園、浜見平保育園職員	①R6/5/8 ②R6/6/12 ③R6/7/10 ④R6/9/11 ⑤R6/10/9 ⑥R6/11/13 ⑦R6/12/11 ⑧R7/2/12	乳幼児とその保護者	10組	①14人(大人7人、子ども7人) ②12人(大人6人、子ども6人) ③8人(大人4人、子ども4人) ④12人(大人6人、子ども6人) ⑤17人(大人8人、子ども9人) ⑥ ⑦ ⑧	
11	(共催) ほしつ☆メソッド	対面	こども育成相談課と共催。子どもへの伝わりやすい言い方・ほめ方・注意の仕方をロールプレイを交えて練習する講座。(2歳児の保護者対象・1回)	こども育成相談課職員	R7/2/20(木)	2歳児をもつ保護者			
12	(5館・青少年会館連携) 小学生のうちに身につけておきたい ネットリテラシー	対面・Zoom	令和5年度に引き続きKENTEM(株式会社建設システム)と連携して実施。インターネットの情報を正しく理解し、それを適切に判断、運用できる能力を身に付ける講座。	KENTEM(株建設システム)	R6/7/27(土)	小学3年生～6年生	10人	0人	5館・青少年会館の中で香川公民館のみ参加者がなかったため、他館の運営に協力した。
13	お金ってなに?どこからくるの?～お金について考えてみよう～	対面	児童書を読み親子でお金の役割や大切さ等を考える。買い物ごっこ体験を通してお金の使い方やお小遣い帳のつけ方を学ぶ。	岩崎明子氏、織茂君枝氏、川島智子氏(藤沢友の会)	R6/10/19(土)	小学生とその保護者	10組	3組(小学生4人、保護者3人)	参加者全員お小遣いをもらってなく、必要な時にあげる程度だと分った。お小遣い帳のつけ方は全員、おおよそ理解したと回答があった。お金の大切さや役割を知ってほしかったが、定員の満たない結果となり、内容、タイトル等検討が必要である。

3 シニア事業

No.	実施事業名	方法	事業の概要	講師	開催日	対象	定員	参加実績	成果・課題
1	メイク講座 他	対面	花王グループカスタマーマーケティング(株)との公民連携事業。メイク講座は年齢や時代・流行に左右されず、誰にも似てない、その人だけの輝きを引き出す講座 他。						※中止
2	シニアのための保健体育	対面	高齢者の健康づくりと交流、高齢者支援リーダーの活躍の場。	佐藤節子氏、若林三枝子氏、佐藤みち子氏	①R6/5/14(火) ②R6/6/11(火) ③R6/7/9(火) ④R6/8/20(火) ⑤R6/9/10(火) ⑥R6/10/8(火) ⑦R6/11/12(火) ⑧R6/12/10(火) ⑨R7/1/21(火) ⑩R7/2/11(火) ⑪R7/3/11(火)	60歳以上	20人	①19人 ②19人 ③21人 ④16人 ⑤14人 ⑥18人 ⑦15人 ⑧ ⑨ ⑩ ⑪	
3	これから始めるスマートフォン	対面	シニア世代のスマートフォンの使い方を支援する。	ソフトバンク(株)	①R6/8/8(木) ②R6/8/22(木)	60歳以上を優先	10人	①8人 ②中止	ソフトバンク(株)の協力を受け実施。講師1人、サポート3人の体制でスマホの基本的な操作、日常よく使う機能を学び、約9割の人が理解できたと答えた。Android編は満席だが、iPhone編は最少催行人数に満たず中止となった。全スマホユーザーに向けたプログラム作りが必要である。
4	大人のためのエンジョイリズム体操	対面	子ども向けが多いリトミックの手法を大人向けにして、音楽に親しみながら、身体の活性化を図る。	京谷ひとみ氏	①R6/10/17(木) ②R6/10/31(木) ③R6/11/3(日)	60歳以上	20人	①18人 ②16人 ③16人	アンケートの結果の、項番4『今回の講座に参加したことで、心や体に変化を感じますか。』の設問に対して「1非常に感じる」「2感じる」と思った人が80%を超える結果となった。シニアの方にとって、体を動かす良いきっかけとなった。ほかの事業と日程が被ってしまったため、参加したくてもできなかったとの声が複数あった。今後は日程調整を工夫していく必要がある。
5	昭和の思い出をたどる～初めての記憶画体験～	対面	記憶画について、まずは講師の作品をもとに参加者の経験談を交えながら交流を図り、実際に描いた作品を発表してもらう。	新見睦氏	①R6/10/12(土) ②R6/10/19(土)	60歳以上	10人	①0人 ②0人	

4 博物館連携事業

No.	実施事業名	方法	事業の概要	講師	開催日	対象	定員	参加実績	成果・課題
1	(共催) 夏休み親子でチメンモンスタースター標本づくり	対面	チリメンジャコの中に混入している、魚の稚魚や甲殻類、軟体類幼生を探しだし、樹脂標本にする。	茅ヶ崎市博物館学芸員、学芸専門員	R6/7/31(水)	小学生の親子	10組	9組(子ども11人、大人9人)	海の生き物を身近に感じ興味関心を高めることができたと同時に、「見つける」「調べる」「作る」という一連の作業の喜びが学習意欲につながった。 また、2周年を迎える茅ヶ崎博物館の周知につながった。

5 地域課題解決等事業

No.	実施事業名	方法	事業の概要	講師	開催日	対象	定員	参加実績	成果・課題
1	姉妹都市友好協定締結10周年記念事業 ハワイアン布ぞうり	対面	古い浴衣を使って布ぞうりを作る。姉妹都市友好協定締結10周年記念事業とし、ハワイ州の花であるハイビスカス柄を使用するなど姉妹都市の理解を深める内容とする。	ラ・トワール(布ぞうり講師団体)	R6/6/9(日) ※フォローアップ ①R6/6/16(日) ②R6/7/21(日) ③R6/8/17(土) ④R6/9/15(日) ⑤R6/12/22(日)	小学5年生以上	15人	15人 ※フォローアップ ①4人 ②1人 ③4人 ④2人 ⑤	姉妹都市友好協定締結10周年記念事業として実施。香川公民館としては定番の講座であるが、「ハワイアン」と目先を変えたことで小学生、30代、40代の若い世代の参加があり定員を上回る結果となった。
1-2	手づくり布ぞうり	対面	古い浴衣を使って布ぞうりを作る。自分たちの学びを地域に還元できる事業方向とする。	ラ・トワール(布ぞうり講師団体)	R7/2/9(日)	小学5年生以上	18人		
2	かがわ健康ウォーク「松下政経塾見学と周辺の散策」	対面	(春) ウォーキングの楽しさを知り健康増進を図る。	ちがさき丸ごとふるさと発見博物館の会	R6/6/13(木)	18歳以上	18人	19人	一般には立ち入ることが難しい松下政経塾の見学など内容を評価する声が多かった。一方で、「健康ウォーク」というタイトルでありながら歩行距離はさほど長くなく、ウォーキング目的で参加した方には物足りなさを感じさせた可能性もある。
3	かがわ健康ウォーク「二宮金次郎生家と遺跡を訪ね歩く」	対面	(秋) ウォーキングの楽しさを知り健康増進を図る。	ちがさき丸ごとふるさと発見博物館の会	R6/10/10(木)	18歳以上	18人	16人	二宮金次郎というテーマに沿い、約7キロを歩くことができた。尊徳記念館では小田原市の専門ガイドによる案内があり、より興味深い話が聞けた。 往路はマイクロを利用したが、駐車場の問題で復路は電車利用となり、往復マイクロバス利用にしてほしいとの声があった。
4	かがわ健康ウォーク(番外編)「水彩スケッチ散歩」(連続講座)	対面	(番外編 水彩スケッチ)ウォーキング番外編として、スケッチしながらウォークを楽しむ。同じ目的を持った仲間づくりの場とする。	小林幸信氏	①R6/11/13(水) ②R6/11/14(木)	18歳以上	16人	①11人 ②11人	マイクロバス送迎、ちがさきまるごとふるさと発見博物館の会のガイド、豊かな自然の中でのスケッチと有意義な講座となった。 アンケートではスケッチサークルの参加希望が8名あり、この講座から発足した同好会への参加が期待できる。 一方、定員の満たない結果となり地域にニーズがあるか検討が必要である。
5	日本の年越し しめ飾りづくり	対面	年越し行事のしめ飾りづくりを体験し地域交流を図る。	小島賢造氏、井上幸雄氏、南上弘志氏、森俊彦氏、田中京子氏	①R6/12/14(土) ②R6/12/15(日)	中学生以上	15人		
6	かがわサロン「体験する防災講座」(連続講座)	対面	スポーツ、健康、歴史、生活、食、経済、音楽、情報など多方面から時代に即したテーマを選び、地域の活性化を図る。	あいおいニッセイ同和損害保険(株)大尾美登里氏(NPO法人かながわ女性防災)	①R6/12/1(日) ②R6/12/8(日)	中学生以上	18人		

7	(共催) 普通救命講習会	対面	消防指導課と共催。救急車がくるまでの、救命処置、応急手当を身につけ生存率、社会復帰率を上げる。	消防指導課職員	R6/11/30(土)	中学生以上	15人	15人	1人1体のCPRマネキンとAED付与のためか、皆真剣に救命処置に取り組んでいた。一時救命処置を身につけ、生存率のアップや社会復帰率を上げることにつながった。また、近年、熱中症や自然災害が頻繁に起こる中、救命講習会の重要性があると考えられる。
8	夏休み学習室開放	対面	空いている部屋を宿題や勉強の場として提供する。		R6/7/21(日)～ R6/8/31(土)	小学3年生～20歳	1,251人	54人	学習室開放の周知が遅くなり、特定の利用者のみがほぼ毎日使用する結果となった。香川小のコミュニティスクールが実施した同様の取り組みは多くの児童がやってきたとのことであり、ニーズはあると思われる。記名を嫌ってロビーで勉強する子どもたちもおり、制度設計そのものを見直す必要がある。
9	卓球開放	対面	小学生以上を対象に体力向上と仲間づくり。		①R6/4/12(金) ②R6/5/10(金) ③R6/6/14(金) ④R6/7/12(金) ⑤R6/8/9(金) ⑥R6/9/13(金) ⑦R6/10/11(金) ⑧R6/11/8(金) ⑨R6/12/13(金) ⑩R7/1/10(金) ⑪R7/2/14(金) ⑫R7/3/14(金)	小学生以上	15人	①13人(大人6人、小学生7人) ②9人(大人8人、小学生1人) ③11人(大人11人) ④11人(大人6人、小学生5人) ⑤4人(大人4人) ⑥10人(大人9人、小学生1人) ⑦6人(大人5人、小学生1人) ⑧12人(大人9人、小学生3人) ⑨ ⑩ ⑪ ⑫	
10	庭木の剪定教室 ～我が家の庭から街づくり～	対面	庭木剪定の基礎的な技術を公民館の敷地内の庭木を題材に実地指導と並行して学ぶ。	宍倉寛人氏(宍倉造園)	R6/6/9(日)	18歳以上	14人	12人	庭木の剪定に興味があるが手を出せない人、わからないまま自己流で剪定している人等に、基礎的な技術を学べる機会を作ることができた。
11	パーソナルカラー講座	対面	春夏秋冬のパーソナルカラーを学び、セルフチェックをしながら自分に似合うカラーグループを見つける。	有山豊美氏(カラーコンサルタント)	R6/8/24(土)	18歳以上	12人	12人	自分の魅力を輝かせる色を参加者同士でチェックしあい9人見つけることができ、自分の似合う色で全員出かけたという気持ちになったと回答があった。パーソナルカラーの判断が難しいことがあり、うまく判断できるように見直す必要がある。
12	現役世代のがん防災	対面・Zoom	2人に1人ががんになる時代。いざがんを告知されたときに慌てないためにも事前になんに関する情報について学ぶ。						※中止
13	子どもの靴の選び方(託児付)	対面	成長期の子どもの靴選びは、筋肉や骨にも影響するほど重要なこと。正しい靴選びについて学んでもらう。						※中止
14	筆文字アート 己書で年賀状を書こう	対面	自著による手紙や年賀状を書くことが少なくなった。それによって自分の書く文字に自信が持たなくなり、さらにメールなどに頼ってしまうという状況を改善する。	大山郁香氏(心温己書道場)	R6/11/3(日)	18歳以上	20人	17人	すぐに満席となる人気の講座。松林公民館でも開催したいという声がかかり、2館で開催した。また、この講座に参加した人からサークルが立ち上がり、学びを体験で終わらせず継続する運びとなった。
15	一眼レフ初心者カメラレッスンVol.1	対面	一眼レフやミラーレスカメラの軽量化が進み、誰でも気楽にカメラを手にすることが増えた。しかし、実際はカメラの複雑な機能や扱い方がわからず、学ぶ機会も少ないため、その使い方を学ぶ。	社会教育囀託員	①R6/6/7(金) ②R6/6/14(金) ③R6/6/21(金) ④R6/6/28(金)	一般	8人	①8人 ②6人 ③7人 ④7人	全員がマニュアルモードを理解し、活用しながら撮影ができた。また、茅ヶ崎や湘南地域の魅力を被写体としてとらえ、写真を撮ることの楽しさを伝えることができた。
15-2	一眼レフカメラ マニュアルモード実践講座	対面	一眼レフカメラレッスンのステップアップ講座として、マニュアルモードの撮影会を中心にフィルターの使い方や、データ編集のやり方、講評会と作品展を実施する。	社会教育囀託員	①R6/11/1(金) ②R6/11/8(金) ③R6/11/15(金) ④R6/11/22(金)	一般	5人	①6人 ②6人 ③6人 ④6人	一眼レフカメラ初心者講座参加者からステップアップ講座を、との要望が多く企画した。講座終了後にこの講座からサークルが立ち上がり、学びを継続することとなった。次回の初心者講座終了後の受け皿ともなると思われる。
16	※1. 子ども事業No.12で実施	対面	検討中						※1. 子ども事業No.12で実施

17	(5館連携事業) 夏休みオンラインおかし工場 見学	対面・Zoom	民間団体の技術・ノウハウ等を活かし、地域課題解決に取り組む。カルビー広島工場のオンライン工場見学を行い、工場見学に関わるクイズを実施する。	(株)カルビー広島みやじま工場	R6/8/21(水)	小学生	15人	6人(子ども4人、保護者2人)	現地工場とリアルタイムでzoomで繋がり会話でき通信できたことが、子どもにとって興味深かったのではないかと。アンケートの集計から「このようなオンラインでの工場見学にまた参加したいか」の問いに80%以上が「参加したい」と回答があった。
18	(5館連携事業) 姉妹都市10周年事業	対面	ホノルル市・郡との姉妹都市協定締結10周年を記念し、ホノルル5館連携事業や、主催事業において、関連事業に「姉妹都市協定締結10周年」の冠を付け実施する。「ホノルル研究員」を募集し、ホノルルミーツで公民館の出展展示と合わせ、研究成果を発表する。またホノルルミーツ終了後に巡回展示を行う。		R6/10/26(土)ホノルルミーツ				
19	君がもっと強くなるメンタル、フィジカルトレーニング 中高生によくあるスポーツ障害、スポーツ外傷をセルフケア	対面	心と体の成長著しく、多感な中高生が、自分を大切にしながら目標を達成するためにセルフケアの方法を提供する。本講座はフィジカル編でスポーツ障害やスポーツ外傷、テーピングについて学ぶ。	小室典洋氏(柔道整復師、うめだ接骨院)	R6/11/16(土)	中学生以上	15人	7人	症状別のテーピング方法を学んだ。少人数制で講師の細やかな指導を受け、参加者のもっと知りたい実践したいという声につなげることができた。中高生の参加が得られなかった。テーマ設定について、リサーチが必要である。
20	君がもっと強くなるメンタル、フィジカルトレーニング 君を復活させるメンタルトレーニング	対面	心と体の成長著しく、多感な中高生が、自分を大切にしながら目標を達成するためにセルフケアの方法を提供する。本講座はメンタル編で感情のコントロールや呼吸法等について学ぶ。	深井諭氏(フィジカル&メンタルトレーナー)	R6/11/23(土)	中学生以上	15人	25人	中学校から部活動の一環で参加を希望する声があり、定員を増員して実施した。実技では参加者同士声を掛け合いながら不安の解消法を学んだ。ぜひ実践したいと約8割の参加者が回答。初めて公民館事業に参加した人が8割を占め、公民館周知につなげられた。デジタルを活用して、もっと多くの人に周知したいと考える。
21	身体を動かし認知症予防～いつまでも元気に今できること～	対面				18歳以上	20人		

6 学習成果活用・学習情報提供事業

No.	実施事業名	方法	事業の概要	講師	開催日	対象	定員	参加実績	成果・課題
1	第34回公民館まつり	対面	公民館まつり実行員会を中心にサークル活動の発表や展示、バザー、模擬店等を2日間にわたって開催する。		①R7/3/1(土) ②R7/3/2(日)				
2	夏休み自由広場	対面	公民館利用サークルの活動を小・中学生が体験する。	16サークル	R6/7/20(土)～ R6/8/25(日)	小中学生	313人	164人	利用者懇談会との共催事業。大変盛況ではあったものの、コロナ禍前に比べて参加者は大きく減っている。そのため、第3希望まですべて参加できるよう運用を変更した。また、アンケートの中で「やりたいこと」を挙げてもらい、来年度以降のサークルの協力につなげられるようにした。
3	主催事業情報「かがわ」発行		公民館主催事業のPR。						R6.4.1発行 第109号 R6.7.1発行 第110号 R6.10.1発行 第111号
4	公民館報「こもれび」発行		公民館からの情報発信。						R6.9.30発行 第68号
5	(5館連携事業) 公民館フェスタ	対面	市民に対して公民館の普及啓発活動を行う。R6年度は姉妹都市10周年事業のホノルルミーツに振り替え実施する。						
6	(5館連携事業) 公民館ウィーク	対面	市役所ふれあいプラザでのパネル展示・チラシ配架等を行う。						

7 公民館利用者活動支援事業

No.	実施事業名	方法	事業の概要	講師	開催日	対象	定員	参加実績	成果・課題
1	公民館利用者懇談会	対面	公民館の利用団体で組織される懇談会。活動内容でブロックに分かれ、ブロック代表である世話人を中心にサークル体験、学習会、清掃活動、広報誌発行などを行う。						R6. 5. 21(火) 第71回全体会 R6. 11. 21(水) 第72回全体会 R6. 7. 20(土)～8. 25(日) 夏休み自由広場 R6. 11. 24(日) 学習会
2	公民館利用者懇談会5館協議会	対面	5公民館の利用者代表による意見交換会。						R6. 7. 17(水) 第1回

8 次世代育成ネットワーク事業

No.	実施事業名	方法	事業の概要	講師	開催日	対象	定員	参加実績	成果・課題
1	小学生公民館見学	対面	近隣小学校の総合的学習の時間に協力し、子どもたちに公民館を知ってもらい利用促進につなげる。		R6/6/5(水)	香川小学校3年生		5クラス 教員6人 ふれあい補助員1人 児童162人	図書館の見学もあり時間配分が難しく、また、公民館は部屋を見るだけになってしまうため内容に苦慮した。3年生の理解度は不明だが、後日、来館した子どもたちから見学について声を掛けてもらうことができ、コミュニケーションの醸成につながった。
2	職場体験の受け入れ	対面	近隣中学生に公民館の仕事について理解してもらう。		R6/11/21(木)	鶴が台中学校2年生		3人	様々な業務を用意し、時間を持て余すことなく体験してもらうことができた。日頃、公民館を利用したことはないとのことであったため、公民館を知ってもらう貴重な機会となった。

9 公民館運営審議会等

No.	実施事業名	方法	事業の概要	講師	開催日	対象	定員	参加実績	成果・課題
1	公民館運営審議会	対面	館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議する。 (定例会：年2～3回、社会教育課主催研修会：年1～2回)		①R6/7/30(火) ②R6/12/25(水)			①6人 ②	
2	公民館運営審議会委員連絡協議会	対面	5公民館の審議会委員で構成する連絡協議会。						
3	公民館長・公民館運営審議会委員等研修会	対面	県公民館連絡協議会主催の研修会に公運審委員が参加する。		R6/10/31(木)			1人	